



新機能の概要

Replication Server[®] Data Assurance オプション 15.7.1

ドキュメント ID : DC01877-01-1571-01

改訂 : 2012 年 5 月

Copyright © 2012 by Sybase, Inc. All rights reserved.

このマニュアルは Sybase ソフトウェアの付属マニュアルであり、新しいマニュアルまたはテクニカル・ノートで特に示されないかぎり、後続のリリースにも付属します。このマニュアルの内容は予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されているソフトウェアはライセンス契約に基づいて提供されるものであり、無断で使用することはできません。

アップグレードは、ソフトウェア・リリースの所定の日時に定期的に提供されます。このマニュアルの内容を弊社の書面による事前許可を得ずに、電子的、機械的、手作業、光学的、またはその他のいかなる手段によっても、複製、転載、翻訳することを禁じます。

Sybase の商標は、Sybase の商標リスト (<http://www.sybase.com/detail?id=1011207>) で確認できます。Sybase およびこのリストに掲載されている商標は、米国法人 Sybase, Inc. の商標です。® は、米国における登録商標であることを示します。

このマニュアルに記載されている SAP、その他の SAP 製品、サービス、および関連するロゴは、ドイツおよびその他の国における SAP AG の商標または登録商標です。

Java および Java 関連のすべての商標は、米国またはその他の国での Oracle およびその関連会社の商標または登録商標です。

Unicode と Unicode のロゴは、Unicode, Inc. の登録商標です。

このマニュアルに記載されている上記以外の社名および製品名は、当該各社の商標または登録商標の場合があります。

Use, duplication, or disclosure by the government is subject to the restrictions set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of DFARS 52.227-7013 for the DOD and as set forth in FAR 52.227-19(a)-(d) for civilian agencies.

Sybase, Inc., One Sybase Drive, Dublin, CA 94568.

目次

Replication Server Data Assurance オプション 15.7.1 の

新機能	1
アップグレード手順の変更	1
パスワードの変更	1
ログイン時のパスワードの暗号化	1
パスワードのリカバリ	2
パスワード・ポリシー	3
LDAP 認証	3
SSL サポート	3
監査トレース・レベル	4

目次

Replication Server Data Assurance オプション 15.7.1 の新機能

Replication Server® Data Assurance オプション 15.7.1 には、暗号化したログイン、パスワードのリカバリ、LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) 認証、および SSL (Secure Sockets Layer) サポートを可能にする新しいセキュリティ機能が搭載されています。

アップグレード手順の変更

Replication Server Data Assurance オプション 15.7.1 のインストーラを実行すると、以前に選択されている Data Assurance 管理者 (da_admin) または Data Assurance System Database (DASD) 管理者 (dba) のパスワード・ファイルを除き、以前のインストールの既存ファイルがほとんど上書きされます。

『Replication Server Data Assurance オプション・インストール・ガイド』の「以前のインストールの上書き」を参照してください。

パスワードの変更

Replication Server Data Assurance オプション 15.7.1 では、ログイン時のパスワードの暗号化が導入されており、da_admin パスワードをリカバリしたり、パスワード長を設定することができます。

ログイン時のパスワードの暗号化

DA サーバまたは DA エージェントへのログイン時に、暗号化されたパスワードを受け入れるように Replication Server Data Assurance オプション 15.7.1 を設定できます。

- コマンド・ライン・ツール (CLT) は **isql** の **-x** オプションを使用して、ネットワークへの送信前にパスワードを暗号化します。
パスワードの暗号化レベルを指定するには、新しい **clt_password_encryption_reqd** パラメータを使用します。
- Sybase Control Center for Data Assurance では、DA 管理者のパスワードが常に暗号化されます。

『Replication Server Data Assurance オプション・ユーザーズ・ガイド』の「config」を参照してください。

パスワードのリカバリ

Replication Server Data Assurance オプション 15.7.1 では、DA サーバまたは DA エージェントの da_admin パスワードをリカバリできます。

da_admin パスワードをリカバリするには、次の手順に従います。

- DA サーバを起動します。

- Windows 32 ビット版の場合：

```
%SYBASE%\DA-15_5\server\instance\RUN_instance_32.bat -P
```

- Windows 64 ビット版の場合：

```
%SYBASE%\DA-15_5\server\instance\RUN_instance_64.bat -P
```

- Unix 64 ビット版の場合：

```
$SYBASE/DA-15_5/server/instance/RUN_instance_64.sh -P
```

- DA エージェントを起動します。

- Windows 32 ビット版の場合：

```
%SYBASE%\DA-15_5\agent\instance\RUN_instance_32.bat -P
```

- Windows 64 ビット版の場合：

```
%SYBASE%\DA-15_5\agent\instance\RUN_instance_64.bat -P
```

- UNIX 64 ビット版の場合：

```
$SYBASE/DA-15_5/agent/instance/RUN_instance_64.sh -P
```

-P はパスワード・リカバリの起動パラメータで、**instance** は DA サーバまたは DA エージェントの名前です。

DA サーバまたは DA エージェントにより、起動時に新しい da_admin パスワードが生成され、次のいずれかの場所にある DA サーバまたは DA エージェントのログ・ファイルに書き込まれます。

```
$SYBASE/DA_15-5/server/instance/log/da_0.log
```

または

```
$SYBASE/DA_15-5/agent/instance/log/da_0.log
```

注意： DA 管理者が生成されたパスワードをできるだけ早く変更することを強くおすすめします。

『Replication Server Data Assurance オプション・ユーザーズ・ガイド』の「パスワードを紛失した場合または忘れた場合のリセット」を参照してください。

パスワード・ポリシー

Replication Server Data Assurance オプション 15.7.1 では、da_admin のパスワード長を設定することにより、必要に応じてこのパスワードを変更する柔軟性が得られます。

デフォルト値は次のとおりです。

- 最小値：6 文字
- 最大値：30 文字

『Replication Server Data Assurance オプション・ユーザーズ・ガイド』の「パスワード・ポリシー」を参照してください。

LDAP 認証

Replication Server Data Assurance Option 15.7.1 では、LDAP 認証がサポートされており、LDAP ユーザを DA 管理者の役割にバインドすることができます。

新しい **role** コマンドを使用すると、LDAP ユーザを DA 管理者の役割にバインドできます。

『Replication Server Data Assurance オプション・ユーザーズ・ガイド』の「LDAP 認証」および「role」を参照してください。

SSL サポート

Replication Server Data Assurance オプション 15.7.1 では、SSL (Secure Sockets Layer) がサポートされています。SSL は、クレジットカード番号や株式売買などの機密情報を、インターネットやその他の TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol) ネットワーク上で安全に転送するための標準です。

SSL を使用して暗号化できる通信は次のとおりです。

- RMI (Remote Method Invocation) を介した Sybase Control Center Data Assurance プラグイン・クライアントの DA サーバとの通信。
- RMI を介した DA サーバのリモート DA エージェントとの通信。
- DTS (Data Transfer Stream) を介した DA エージェントの DA サーバとの通信。

新しい **sslconfig** コマンドを使用すると、RMI プロトコルおよび DTS プロトコル用に DA サーバと DA エージェントの SSL 設定パラメータを設定できます。

『Replication Server Data Assurance オプション・ユーザーズ・ガイド』の「SSL セキュリティ」および「sslconfig」を参照してください。

監査トレース・レベル

Replication Server Data Assurance オプション 15.7.1 では、重要なシステム・メッセージの監査トレース・レベルを設定できます。

trace コマンドを使用して監査トレース・レベルを **ALL** に設定すると、DA システム設定、SSL 設定、役割のメンバシップ、または da_admin パスワードの変更時に新しいシステム・メッセージが DA ログ・ファイルに書き込まれます。

『Replication Server Data Assurance オプション・ユーザーズ・ガイド』の「trace」を参照してください。